

大分市明野創生ビジョンの策定

概要

明野団地の起工から 50 年を迎えて構想された「明野創生ビジョン」は、21 世紀における、これからの明野の 50 年を見据え、「明野コミュニティの新構築」を目標に掲げている。

明野地区の歩み、現状と課題、そしてコミュニティの新構築のために必要な事業やリーディングプロジェクトを、今後のアクションに向けて整理している。

ポイント 1

「コミュニティの新構築」を目標とした。

明野地区は、新産業都市建設によって全国から集まってきた人々により構成された新しいまちであった。企業等に勤めている間は職を通じた縁があったが、退職後はその縁が薄くなり、孤立しがちである。そうした性格の職縁社会が長く維持されてきたことが、地域に居住することによって形づくられる地縁社会の形成を遅らせてきたと考えられる。

また、近年では、急速な少子高齢化の進展や若者の大分市外への就職・大学進学等も相まって、地域コミュニティの希薄化、買い物や通院困難者の増加等が進行し、団地全体のライフスタイルが転換期にさしかかっている。そのため、明野地区におけるコミュニティを新たに構築することを目標とした。

コミュニティの新構築の全体像

	問題・課題・心配事	対応策（ソフト）	対応策（ハード）
高齢者層	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立生活の困難 ・ 孤立感の解消 ・ 生き甲斐の回復 ・ 移動交通困難 ・ 買い物不便感 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宅配サービス ・ 給食サービス ・ 見守りサービス ・ 隣近所で連絡を取り合うしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内循環コミュニティバス ・ 既存バスの地区内運行 ・ 高齢者の居場所づくり ・ コミュニティ人材センター
青・壮年層	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横のつながり不足 ・ 身近な相談相手不足 ・ 働く場の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域グループ創生（ママ友、次世代の会） ・ 子育て支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ よろず相談室
年少層	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路の多様化による地区内中学（公立）への進学減少 ・ 子供会活動の向上 ・ 子供の安全安心 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供会の再生 ・ 子供の見守り ・ 小中一貫教育の推進 ・ PTA の強化 ・ 児童育成クラブの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館の建設 ・ 安全な公園や遊び場
全年齢層	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域帰属感薄弱化 ・ 明野ブランドの創生（地域価値の持続・向上） ・ 安全安心なまち ・ 美しい明野の創造 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭り ・ スポーツ大会 ・ 文化活動 ・ 安全まちづくり活動（防犯パトロール、地域見守り隊） ・ 緑地管理 ・ 景観・緑化協定 ・ 地域づくり活動 ・ 地域の歴史学習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CPTED（防犯環境設計） ・ 街路樹と公園整備 ・ 景観設計・緑化 ・ 身近な環境美化 ・ クラインガルデン ・ コミュニティ空間の共同維持管理

ポイント2

コミュニティレベルの計画を、コミュニティが主体となって作成した。

地元の自治会役員等で構成される明野 50 周年記念事業推進協議会(山田軍才会長) が主体となり、明野創生ビジョンを作成した。

ビジョン作成に際しては、先進地視察（兵庫県 明舞団地）や地元の次世代の会、ママ友の会と意見交換会も開催した。



明野 50 周年記念事業推進協議会での検討



明舞団地への視察

ポイント3

コミュニティの新構築に向けて多世代交流促進プロジェクトを掲げた。

- ・明野コミュニティ新構築のため、多世代交流の促進を図る取組み（ハード、ソフト）をリーディングプロジェクトと位置付ける。
- ・具体的には、(仮称) 多世代交流プラザを地区中心部に設置し、高齢者層、青・壮年層、年少層、それぞれの世代の生活をサポートしつつ、同世代間及び世代を超えた交流を促進し、明野の新しいコミュニティづくりのエンジンとする。
- ・(仮称) 多世代交流プラザ内には、世代に応じた暮らしのサポート機能や地区全体の暮らしを支えるしくみの拠点機能を有する。

多世代交流促進プロジェクト

